

# SMFアート縁日

## アート楽市

2009年11月21日 北浦和公園

「アート縁日」は《SMFアートのわっ! あつまれアートのつむじ風》事業の中核となる集約された3日間(11月21日~23日)。野外アートフリーマーケットを中心とした《アート楽市》、噴水前ひろばをメインステージとする各種パフォーマンスのにぎやかな祭典(アートパンチ)から、商店街と公園を行き来しながらさまざまなアートを楽しむ《回遊美術館》、連日繰り広げられるさまざまな《ワークショップ・コレクション》、音楽という表現の拡がりとともに開かれていく世界を体感する《空間音響ライブ&トーク》、埼玉県内で意欲的な活動を繰り広げるアート関係者・市民が集う《ラウンドテーブル》、フィナーレを飾り4,000本にも及ぶ美しい《風車》がアートの風をはこぶ壮麗な空間で行われた創作ダンス《風の娘たち》まで、多彩なプログラムをお楽しみいただきました。幸い好天にも恵まれ、3日間の公園来場者は推計でおよそ11,000人にのぼり、「にぎやかで楽しい」、「毎年やってほしい」、「風車が壮観」など、多くの方からご好評をいただきました。またアート関係者と市民の出会いと交流の場として貴重な契機となりました。



館とをゆるやかにつなぐことを目的としています。それぞれの出店ブースには、手作りの大きな炬燵でアーティストたちと来場者が語り合うインスタレーション、インドのフォークアート、ハンディキャ

プのあるアーティストののびやかで明るい色調の作品、彫刻、陶芸、イラスト、ワイヤーアートなど、幅広いジャンルの作品が展示されました。野外で間近に見て、触れて体験できるなど、美術館とはまたひと味違った楽しみ方も喜ばれていました。バルーンアートによるインパクトのあるディスプレイ、竹とんぼ作りや木組みのワークショップなどは親子づれの来場者楽しんでもらえたと思います。ワークショップで夢中になって取り組む子供たちの輝く瞳、その奥に小さなアートの芽吹きを確信した《アート楽市》でした。  
(小原恵利子/SMF運営委員)

**'09 SMFアート楽市 & アートパンチ**

アートパンチ	タイムスケジュール
10:15~	樋口啓祐 パルン(パフォーマンス)
10:45~	野本翔平 彫刻(パフォーマンス)
11:15~	山下浩人 舞踏(15分)
11:30~	飛び入り歓迎
12:15~	村松真衣+日髙洋真コース有志 創作ダンス(パフォーマンス)
12:45~	山毛麻那 和の音 演し
1:15~	山下浩人 舞踏(15分)
1:30~	ダンスユニット転々
2:10~	山中一樹 サックス演奏
2:40~	奥野裕太 他 ジャズ演奏
3:10~	平野昌広 ダンスパフォーマンス
3:40~	大沢広一郎 他 サックス4重奏

会場案内図には、ミテラー美術館、CIPRESSO、ワークショップ広場、本館 & FM放送、SMFアートのわっ! などの場所が示されています。



### アート楽市

11月21日、朝からぬけるように美しい青空のもと、北浦和公園では《アート楽市》が開催されました。本年は、県内で活躍するアートNPOやアーティストグループ、県外美術館などが参加し、規模も昨年の倍に増え、会場には多くの来場者が訪れて大盛況でした。  
《アート楽市》は若手アーティストの発表の場として、来場者とアーティストのコミュニケーション、また日頃アートにふれる機会の少ない市民と美術

# SMFアート縁日

## アートパンチ

2009年11月21日 北浦和公園・噴水前ひろば ほか

### アートパンチ

《アート楽市》と並行して北浦和公園の噴水前ひろば周辺では、パフォーマンスの見本市《アートパンチ》が開催されました。県内外の各地で活動している演奏グループ、各種パフォーマー、ダンスユニットなど10組が参加しました。出演者たちは定評のある実力者揃いで、観客も目が離せません。  
落ち葉に潜り、地を這い、ひとつひとつの動きに自分の存在を確かめるような若手の即興パフォーマンス。埼玉県立近代美術館コレクションの椅子との念願のコラボレーションを果たした舞踏家。《アート楽市》出展作家の作品(彫刻2点)をイメージした創作ダンスを披露するダンスユニット「転々」は、ゆるやかに走行する乗用ロボットとの束の間の共演へ。また、あでやかな着物姿でふうわりと現れた三味線・胡弓の流しには、数組のダンスパフォーマーが続きます。  
来場者は驚きの表情で、その異色のコラボレーションを追っていました。即興パフォーマンスのベテランはその場の空気を敏感に感じ取り、それぞれの動きの中に生命や情念さえも感じさせました。

日本大学芸術学部のダンスユニットは初々しい、躍動感あふれる創作ダンスを披露。フィナーレではサクソ四重奏に合わせ、《アートパンチ》の出演者らに加え、駅前や商店街でユニークなパフォーマンスを展開した「サンドイッチアートマン」



おせっかい出前美術館~の面々も合流し、華やかなフィナーレとなりました。今回の《アートパンチ》はそれぞれの強い意気込みによって、出演したパフォーマーたちが「アートのわっ!」でしっかりとつながったと感じる充実した内容だったと思います。  
(小原恵利子)



**サンドイッチアートマン~おせっかい出前美術館~活動レポート**  
「サンドイッチアートマン~おせっかい出前美術館~」は、まちで見かける広告看板をかかげるサンドイッチマンから着想を得たものです。美術館やギャラリーなどに作品を展示していても、作品を見に来る人になかなか発信することはできません。今回のアクションでは、パネルに自分の作品を展示し、それを作家自身が持って歩くことで移動可能な「美術館」を実現させました。路上や公園、駅、電車内などで作品を通して周囲の人たちとの会話が生まれました。今後、突然あなたのまちにも出現するかも?  
(浅見俊哉/SMF協力委員)

